

## 高等教育コンソーシアム久留米



# 筑後川 e キャンパスの取り組み

### 1. e ラーニングによる講義連携

「高等教育コンソーシアム久留米」では、加盟校の異なる専門性を生かし、各校の連携と、地域との連携をめざす上で、情報ネットワークを活用した e ラーニング連携環境の構築を進めている。

e ラーニングへの取り組みは、資格取得、就職活動支援など、既に各校では独自の取り組みを進めていたが、そこで作成された教材、コースを共有し相互に活用する環境が求められていた。

e ラーニングネットワークを基盤とする、仮想総合大学キャンパスを「筑後川流域 e キャンパス」と呼んでおり、各加盟校の境界を超えた単位互換を含めた連携授業の基盤を構築している。

### 2. 運用から始める e ラーニング環境

e ラーニング環境構築における教材開発に要するマンパワーは e ラーニング導入の大きな障壁となっている。教材制作の専門組織を持たない本コンソーシアムでは、教材制作から環境づくりをするのではなく、既にさまざまな場所で作られている教材やコースを共用し、運用の実績をつくることを重視し、活動を進めている。

コンテンツは既に各校で制作されている運用をされている資格取得・就職活動支援の教材・コースに加えて、大学コンソーシアム佐賀および佐賀大学との連携で利用できるようになったリメディアル教材の利用を進めている。

### 3. 大学コンソーシアム佐賀・佐賀大学との連携

加盟校で共用可能な e ラーニング設備（サーバシステム・ネットワーク環境）については、5 加盟校で共同利用できる環境を準備した。

しかし、コースについては、基盤となるソフトウェア環境（LMS:ラーニング・マネジメント・システム）の違い、ユーザ登録の共通化など即時に共同相互運用が可能な状況にはならなかった。

加盟 5 校が、足並みを揃えて取り組める基礎教材を探していたところ、大学コンソーシアム佐賀の佐賀大学 e ラーニングスタジオで中学から大学初級までの幅広い分野のリメディアル教育教材（英語・数学・生物・化学・物理）が提供可能な状況にあることを聞き、本年度 4 月から提携に向けての作業を開始し、7 月にはコースを提供できる準備が整い、試験運用を開始している。

### 4. 筑後川 e キャンパスネットワーク

筑後川 e キャンパスネットワークは、加盟校および、連携組織を結ぶネットワークである。①加盟校が独自に運用する LMS と、②コンソーシアムで提供する各校ごとの LMS、③加盟校共同利用の LMS の連携環境を構築している。

②、③はオープンソース LMS である Moodle を用いた共通の LMS を e キャンパスサービスとしてネットワーク提供する。③の上には大学コンソーシアム佐賀から提供されるリメディアル教材など、共同利用環境のリファレンスとなるコースを提供していくことにしている。

教材・コースの制作とコース運用を並行して斬新的に進めていける環境を準備した。現時点では、まだ経験がない教員が多く、手探りで経験を積まなければいけないことのほうが多い。e ラーニングについては先行する大学コンソーシアム佐賀方々の指導を受けつつ、久留米地域独自の教育ネットワークの構築を進めているのが現状である。